

職員研修「職員工コセミナー②」を開催！！

町では平成 21 年度に「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。この実行計画では、町が行う事務事業における温室効果ガス（二酸化炭素）の排出抑制を推進することとしています。実行計画の推進にあたっては、その実効性を高めるため各課に推進責任者を設置して所属内の取組管理を進めています。

7 月 14 日開催した職員研修に引き続き、地球温暖化対策の必要性や温室効果ガス排出抑制の取組に関する講義、職場で取り組むエコ対策についての討議を行う研修会を開催しました。

◆ 研修は、10 月 15 日（金）、消防棟大会議室で開催し、36 名の職員が受講しました。

◆ 講義

テーマ： 「再生可能エネルギー活用に関する近年の動向と課題」

講師： 北海道大学大学院工学研究院
准教授 濱田 靖弘 氏



◆ グループ討議

テーマ： 「職場で取り組むエコ対策」

内容： 5 グループに分かれて、職場で既に取り組んでいることやこれから取り組むエコ対策について討議を行い、その後、各グループから発表が行われました。（主な意見を紹介）

・徒歩、自転車通勤の推進 ・公共施設にソーラーパネルやヒートポンプの活用 ・公用車のエコカー化 ・コピー用紙のリサイクル ・詰替え用品の活用 ・照明のLED化 ・通勤バスの運行 ・申請書類のミニサイズ化 ・紙ごみのペレット化 ・雨水の活用 ・節電 ・節水 ・施設の使用電力の平準化 ・エコを数値化して職員に周知 など



※ 当セミナーは、平成 22 年度地域づくり研修会開催支援事業（財団法人北海道市町村振興協会）の助成を受け開催しています。

※ 町で策定している各種計画書はホームページでご覧になれます。



＝ 問合せ： 町民生活課生活環境班 0167-45-6985 ＝

職員研修（職員エコセミナー） グループ討議用紙（10/15 結果）

グループ名	A	B・C	D	F	E・G		
意見・メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤はマイカーをやめ、徒歩・自転車での通勤の推進 ・公共施設に太陽パネルの設置、地熱の利用 ・公用車は全車エコカーを配備する ・ 	<p>職場で取り組むエコ対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続して取り組む ・ノーマイカーデー ・コピー紙のリサイクル ・照明を小まめに消す ・クールビズ、ウオームビズの推進 <p>新規の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明はLED照明に交換 ・公用車更新の際はハイブリッド車に ・庁舎南側壁面にソーラーパネル設置 ・庁舎、かみんのヒートポンプ化 ・冬の庁舎の1階と2階の温度差の改善⇒サーキュレーター設置 	<p>現在取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙裏面の使用 ・自転車通勤 ・節電（昼休みなど） ・両面印刷 ・電気製品の使用を控える <p>これから取り組んで見たいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱費計を公用車に取り付ける ・太陽光発電の設備 ・電気自動車の導入 ・トイレ水洗の機械化（2階と3階） ・通勤バスの運行（電気バス） ・緑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気発生マット（カーペット）で庁舎電力を補う ・町内に限っての許認可等書類のA5化 ・パソコン熱の利用 ・半径1km以上のお客さんが歩いて庁舎にこられた場合、諸書類の発行手数料を減免 ・窓を机の位置の工夫（右利きであれば窓は左） ・紙ごみのペレット化による暖房燃料として活用 ・屋上の雨水を溜めて水洗に使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・節電 ・必要外の電気を消す ・夜間の照明管理 ・自販機の夜間節電 ・室温管理 ・暖房を個別暖房にして、必要ある部屋のみにする ・電源を小まめに消す ・1年に1回大掃除 ・公共施設はデマンド、ピークを作らないようにする。スイッチを一斉に入れることでピークになる。次の年の基本料金に関わる。 ・裏紙の再利用 ・印刷機の利用 ・すきま風はスタイロホームで抑えてしのぐ ・実践して結果を知ること（数値化で職員に周知） ・節水対策⇒量を減らす ・自転車の利用 ・ペンは詰換え用を使用 		